

Secure Back® 動作環境

■ Secure Back® Manager
Secure Back® Enterprise Manager

オペレーティングシステム
(32ビット/64ビット、日本語版のみ)

Secure Back® Manager = 集中管理用ソフトウェア
Secure Back® for PC = PC用クライアントソフトウェア
Secure Back® for Server = サーバー用クライアントソフトウェア
Secure Back® Enterprise Manager = 統合管理用ソフトウェア

Microsoft が更新プログラムをサポートする以下の日本語版 OS をサポートします。
・ Windows Server 2016
・ Windows Server 2019
・ Windows Server 2022
※ エディション Standard、Datacenter、Essentials でご利用いただけます。
※ Server Core ではご利用いただけません。

CPU

Intel, AMD または互換プロセッサ
サーバー用プロセッサを推奨

メモリ

4GB以上のRAM
※ お使いのOSやソフトウェアによって必要なメモリは異なります。

ストレージの空き容量

Cドライブに2GB以上の空き容量

ストレージの構成

任意のドライブをシステム領域とデータ領域に使用します。
※ NTFSフォーマットされたローカルディスクであることが必要です。

通信ポート Secure Back® Manager

インバウンドポート: HTTP(TCP80※1)、ファイル転送(TCP26000※2)、リストア(TCP26994)
バックアップサーバー内部通信ポート: TCP25000※1※3、TCP3306※1
アウトバウンドポート: HTTPS(TCP443※4)、SMTP(TCP25※5)
※1 インストール時に任意のポートに変更可能
※2 Secure Back Enterprise ManagerはTCP26000-26999の1000ポートから動的に使用
※3 設定したポートから連続する1000ポートを動的に使用
※4 Secure Back Managerのアップデート機能利用時に使用。プロキシサーバーにも対応
※5 メール送信機能利用時のみ、お使いのSMTPサーバーに合わせて任意のポートを指定可能

通信ポート Secure Back® Enterprise Manager

インバウンドポート: HTTP(TCP80 ※1)
内部通信ポート (TCP25500 ※1※2、TCP3306 ※1)
Secure Back Manager通信ポート (TCP26995-26999の範囲)
アウトバウンドポート: HTTPS (TCP443 ※3)
Secure Back Manager通信ポート (TCP26995-26999の範囲)
※1 インストール時に任意のポートに変更可能
※2 設定したポートから連続する500ポートを順番に使用
※3 アップデート機能利用時に使用。プロキシサーバーにも対応

対応Webブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11 以降 ※ JavaScriptを利用

その他

LANに接続されていること。
Apache、PHP、MySQL(それぞれ各バージョン)がインストールされていないこと。

CPU

Intel, AMD または互換プロセッサ

■ Secure Back® for PC

オペレーティングシステム
(32ビット/64ビット、日本語版のみ)

Microsoft が更新プログラムをサポートする以下の日本語版 OS をサポートします。
・ Windows 10 (x86/x64)
・ Windows 11 (x64)
※ Home、Pro、Education、Pro Education、Enterprise Edition でご利用いただけます。
※ Sモードではご利用いただけません。

メモリ

4GB以上のRAM
※ お使いのOSやソフトウェアによって必要なメモリは異なります。

ストレージの空き容量

インストールに30MB以上の空き容量
ログ領域に100MB以上を推奨
メールバックアップ時は、メールデータと同容量のテンポラリ領域が必要となります。
※ メーカーによってはテンポラリ領域を使用しません。

その他

Secure Back Manager 搭載サーバーに接続できること
(通信ポートは「Secure Back Manager / Secure Back Enterprise Manager」を参照)
ストアアプリ版 Outlook には対応していません。

■ Secure Back® for Server

オペレーティングシステム
(32ビット/64ビット、日本語版のみ)

Microsoft が更新プログラムをサポートする以下の日本語版 OS をサポートします。
・ Windows Server 2016
・ Windows Server 2019
・ Windows Server 2022
※ エディションは IoT、Standard、Datacenter、Essentials でご利用いただけます。
※ Server Core ではご利用いただけません。

CPU

Intel, AMD または互換プロセッサ

メモリ

4GB以上のRAM
※ お使いのOSやソフトウェアによって必要なメモリは異なります。

ストレージの空き容量

インストールに30MB以上の空き容量
ログ領域に100MB以上を推奨

その他

Secure Back Manager 搭載サーバーに接続できること
(通信ポートは「Secure Back Manager / Secure Back Enterprise Manager」を参照)

■ 仮想化環境について
本製品はOS上で動作するソフトであるため、仮想化環境でも動作いたします。
なお、仮想化環境の特性上、お客様の環境によってはパフォーマンスに影響を
与える可能性もございます。あらかじめご了承ください。

※ 動作環境は予告なく変更される場合がございます。
※ 動作環境の最新情報はアップデートのWebページにてご確認ください。
※ 掲載している画面はすべて開発中のものです。
※ Secure Backはアップデートの登録商標です。
※ その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

集中管理型バックアップソフト

Secure Back®

製品カタログ Ver 1.7



アップデート株式会社

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-5-8
KDX 神田北口ビル 7F
TEL : 03-6853-7800 (代表)
営業窓口 : sales@updata.co.jp
技術窓口 : support@updata.co.jp
URL : www.updata.co.jp

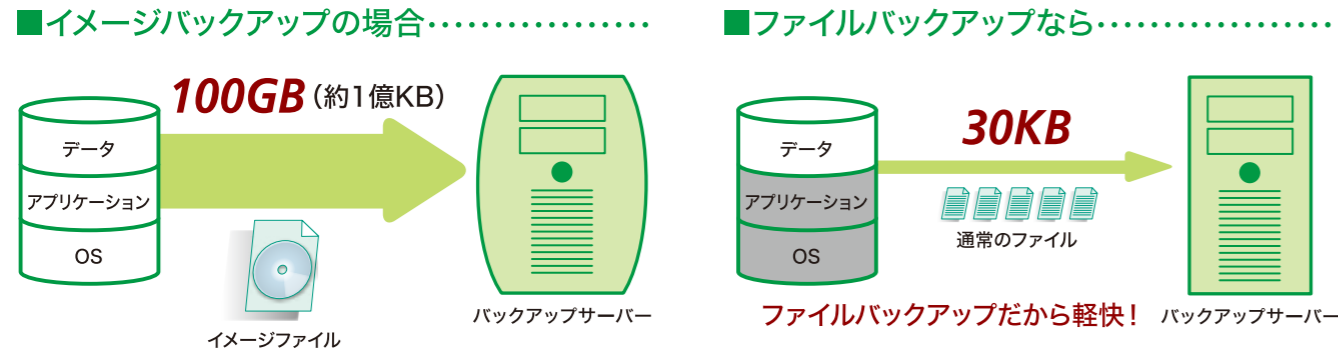
お問い合わせ・ご用命は



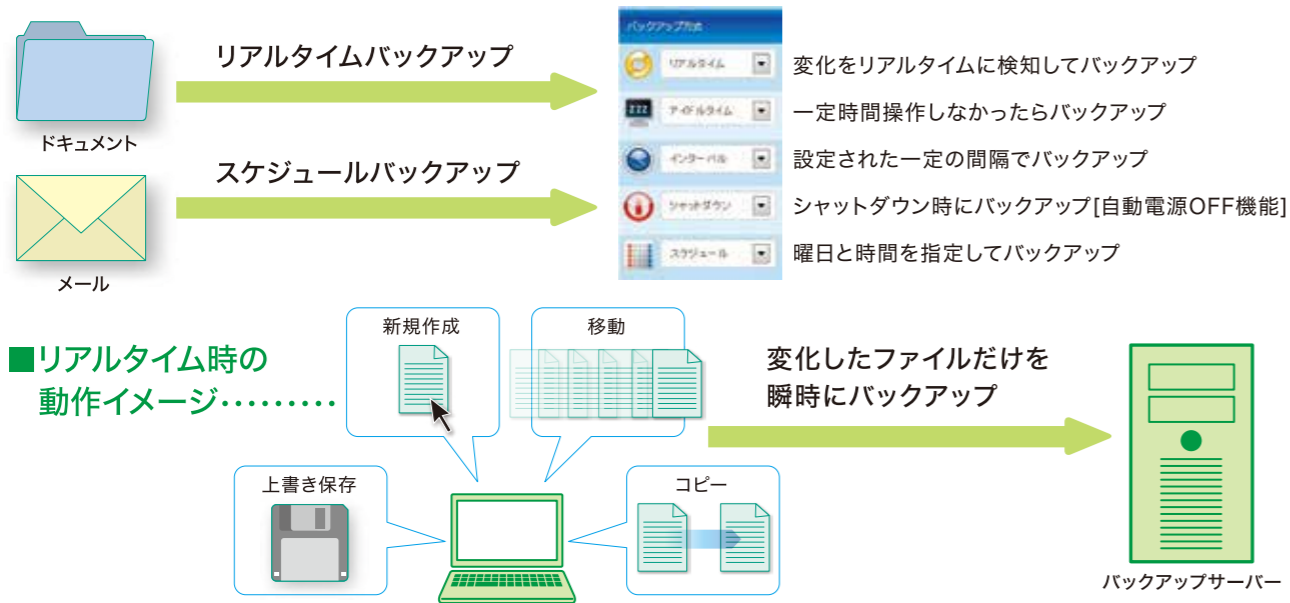
アップデート株式会社は、
情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の
国際規格「ISO/IEC 27001:2013」
国内規格「JIS Q 27001:2014」取得企業です。

意識せず軽快に使えるデータバックアップソフト

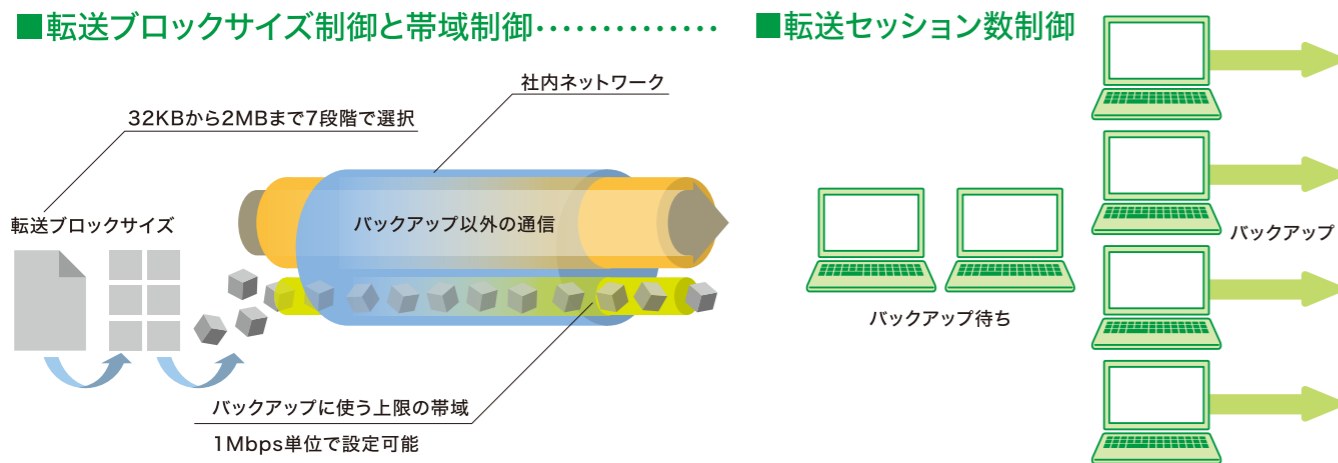
ファイルバックアップ 瞬時にバックアップを終わらせコンピューターに大きな負荷をかけません



5種類のバックアップタイミング バックアップ元ごとに最適なバックアップタイミングを選べます



ネットワーク制御 バックアップによるネットワーク負荷をコントロールします



こんなシーンで活躍

CASE 1 PCのバックアップをしていない!
突然の故障
メールのデータが消えてしまった!
自然災害
人為的ミス
戻してあげたいけど時間がないから初期化!

CASE 2 ファイルサーバーのバックアップに時間がかかる!
アクセスできない
遅い!
バックアップ
テープ
4TBのファイルサーバー
ファイルサーバーの容量を大きくしたが、バックアップに膨大な時間がかかる!

CASE 3 PCの入れ替えが大変!
データ
アプリケーション
OS
すべて移動するのは大変!
データだけ移動できればいいのだが...
新PC
新PC

CASE 4 外部にもバックアップしたい!
自社ビル 築40年!
すべてが この中!
バックアップ用メディアも社屋内に保管
いざという時のために準備をしておかないと...

CASE 5 拠点PCのトラブル対応
拠点PCのトラブル対応
対応のために出張?
PC壊れた!
何とかしてください!
営業所
本社
復旧に時間とコストがかかる!

CASE 6 ランサムウェア対策
ランサムウェア対策
バックアップ領域
バックアップ領域は共有されていないから安全

Secure Back®のシステム構成

すべてのバックアップ設定は管理者が行い、クライアントはその設定に従って自動的に動作します。

オンプレミスからクラウドまで、幅広いバックアップを実現。複数のオンプレミス環境の統合も可能です。

CLOUD

Secure Back®クラウドオプション

バックアップデータを専用クラウド環境にも転送。DR・災害対策に最適なオプションです。
※ 詳細は13ページへ

Secure Back®Enterprise Manager

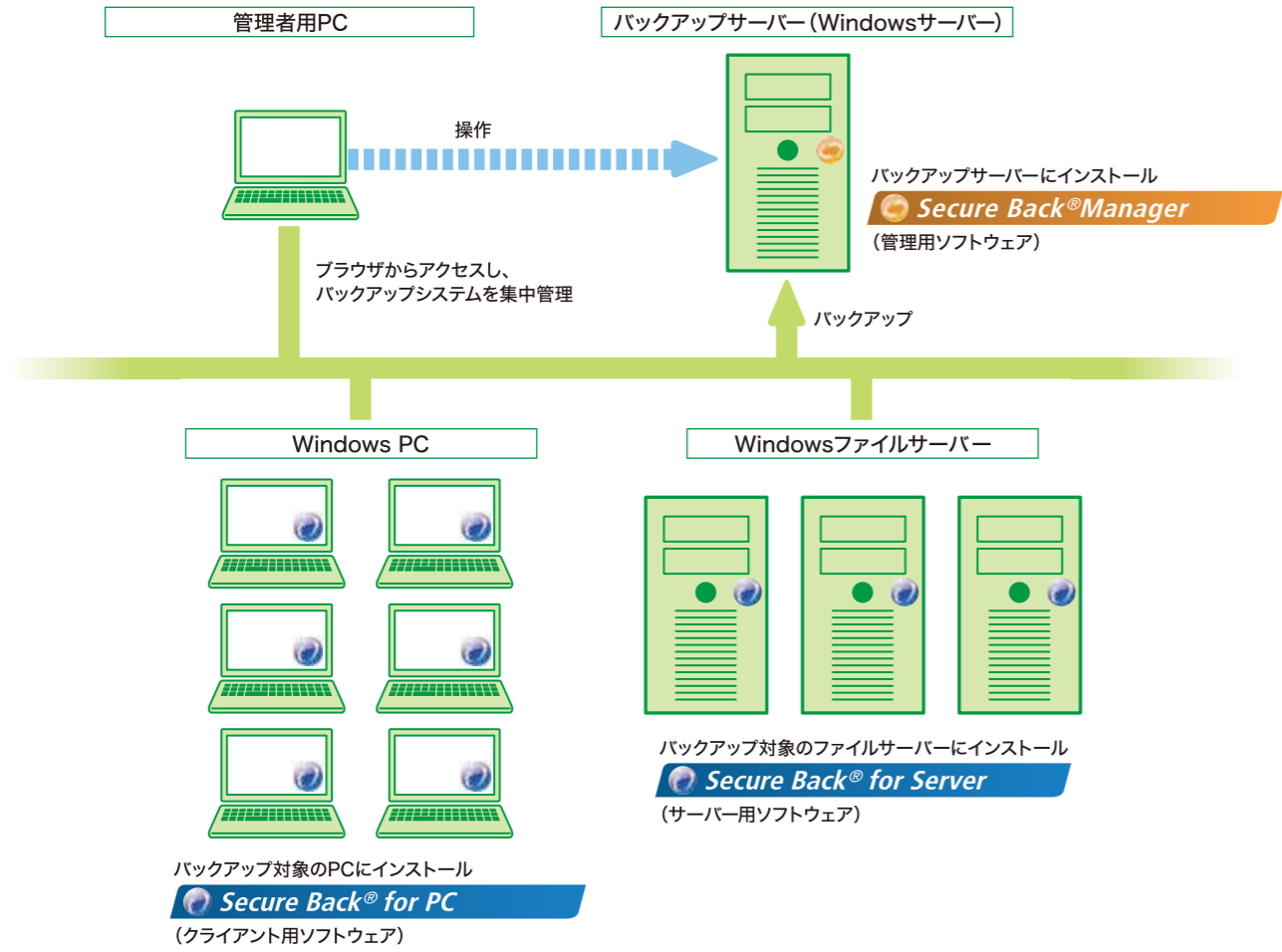
統合管理用ソフトウェア

拡張可能
※詳細は11ページへ

本社

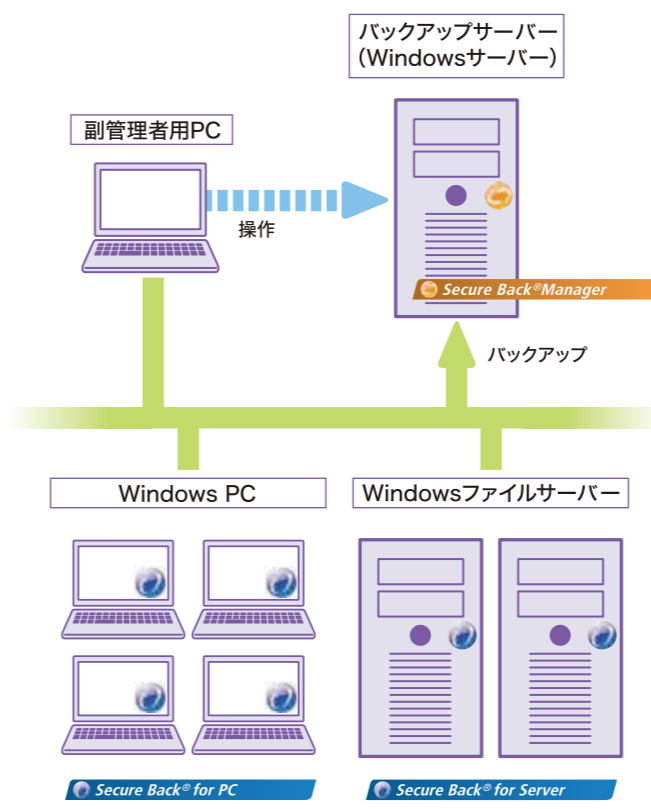
管理者のPCからSecure Back®Managerの直接操作が可能です

ブラウザから <http://{バックアップサーバーIPアドレス}/> にアクセス



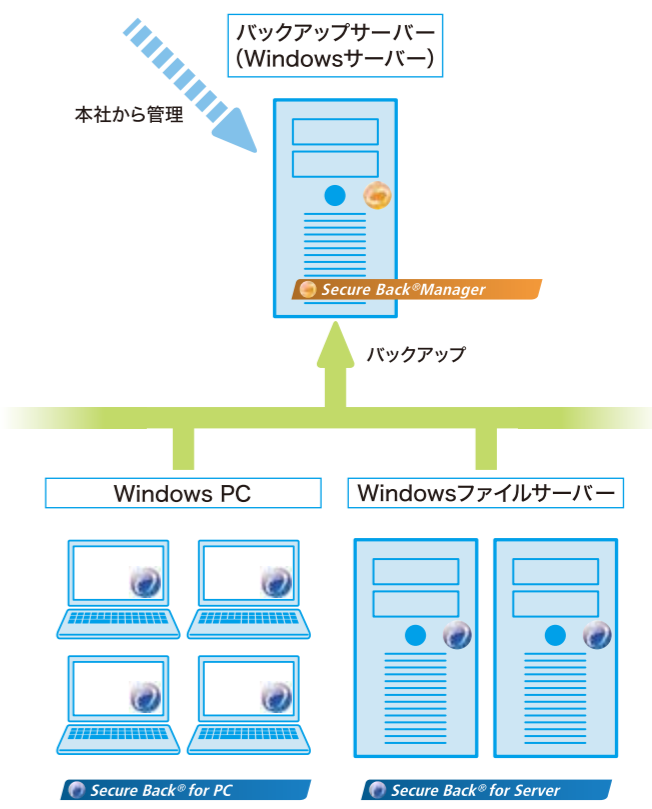
支社

権限を限定して副管理者を指定できます



営業所

適任者がいなければネットワーク経由で管理できます



Secure Back®Manager ユーザー管理画面

わかりやすい管理画面で導入もスムーズ

ユーザー設定

バックアップ設定は全体でもグループ単位でも個人単位でも設定可能

バックアップ容量の上限値を設定

転送速度の上限値を設定

ユーザーをインポート

暗号・圧縮などの選択

暗号化/圧縮の選択

暗号・非暗号、圧縮・無圧縮をユーザーごとに切り替えられます。圧縮機能を使用するとバックアップデータの容量を大幅に削減することが可能です。

大量のユーザー登録作業もインポート機能で一括登録

テンプレートを使ってインポートすれば面倒な初回のユーザー登録が一度で完了します。

Secure Back®Manager バックアップ設定画面

チェックを入れるだけの簡単設定

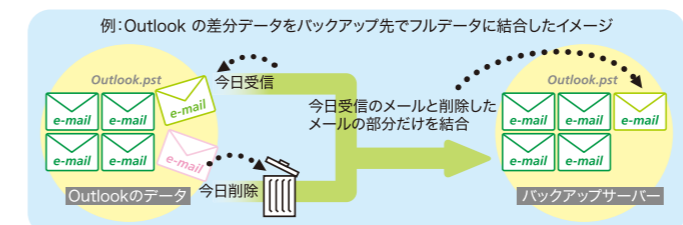
PCクライアント用設定画面

メールのバックアップに完全対応
メールクライアントを立ち上げたまま
まで全自動でバックアップします。
バックアップされるデータ
・メッセージデータ
・アドレス帳
・メッセージルール
・添付ファイル
・迷惑メールフィルター
・ごみ箱
・アカウント情報
(※パスワードはバックアップされません)

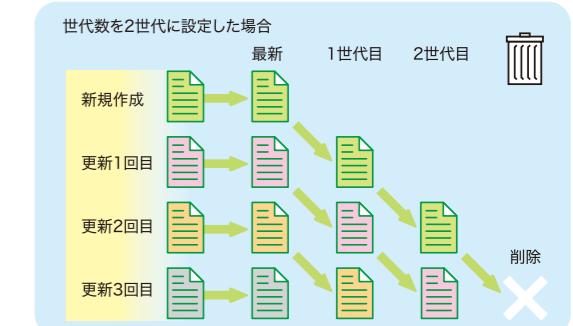
任意のフォルダは
最大50個設定可能

バイナリ差分と差分結合

メールデータが1ファイルに集約される Outlook、Thunderbirdでは、
変化したバイナリの差分のみを転送し、バックアップ先でフルデータ
と結合する独自の差分バックアップ方式*を採用しています。転送量を
最小限にすることでネットワークにかかる負荷を抑えています。
*PC側にテンポラリ領域としてバックアップ対象データと同じ空き容量が必要です。



1回の更新につき1世代保存するので、大切なデータを間違
って上書きしてしまった場合でも最大「99回前に保存した
データ」まで遡って復旧することができます。

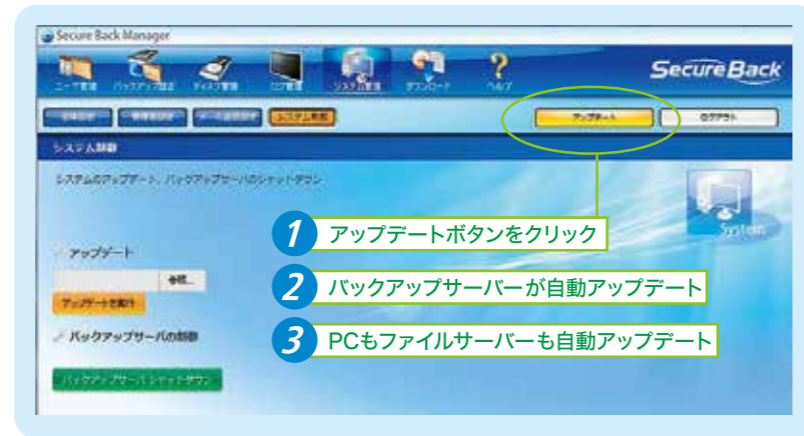


Secure Back®の多彩な機能

充実した機能が様々なシーンで運用を助けます

自動アップデート

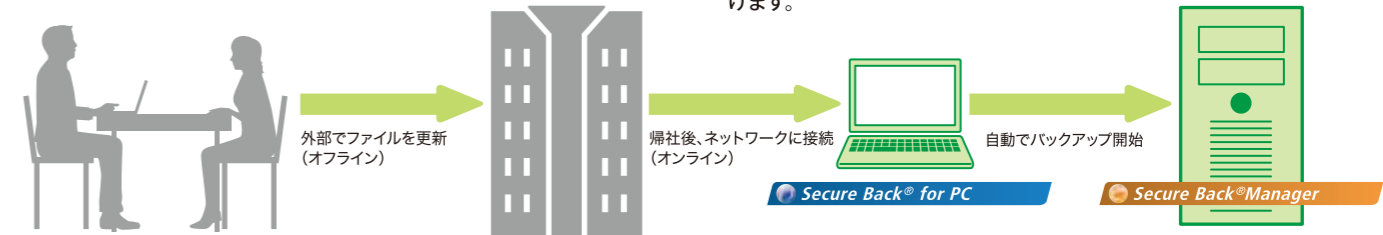
常に Secure Back® を最新の状態でご利用いただけます。最新版の提供が開始されると Secure Back® Manager にアップデートボタンが現れ、クリックするとクライアントを含め自動的にアップデートが実施されます。



オートコンプリーター

オートコンプリーターはクライアント端末のバックグラウンドで動作し、バックアップの整合性を監視しています。バックアップの失敗や漏れを検知すると自動的にバックアップを実行するため、管理者が気にかけることなくバックアップの安全性を高めてくれます。

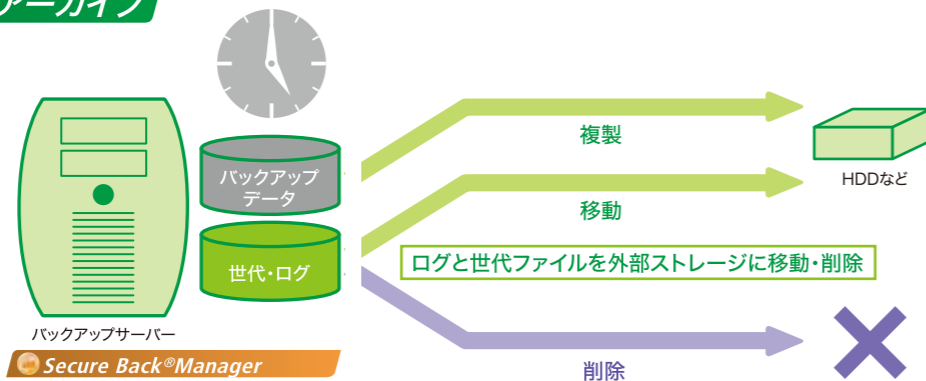
オフライン中に更新されたファイルもネットワークへの接続後にオートコンプリーターが発見・自動バックアップしてくれるので、外出の多いノート PC ユーザーでも安心してご利用いただけます。



外部ストレージへのコピーとアーカイブ

バックアップデータの複製、世代やログデータの移動・削除を、指定したスケジュールで実行できる機能です。バックアップデータの複製先や世代・ログデータの移動先にはローカルディスク以外のストレージも選択可能です。

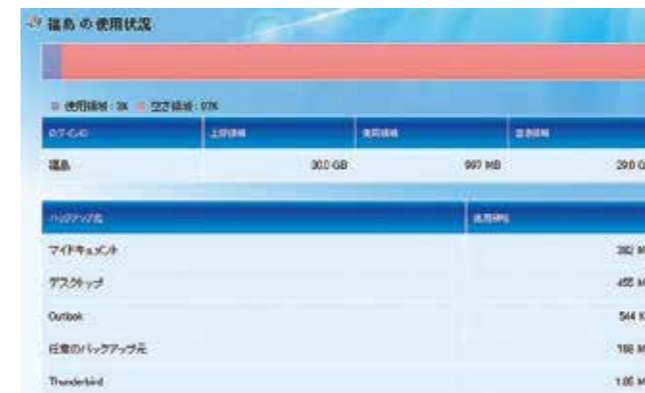
※テープメディアには対応していません。



バックアップサーバーの管理

バックアップサーバーの容量や各種ログなどを管理できます。また遠隔からシャットダウンすることが可能です。

ディスク管理画面



バックアップ先ディスクの容量確認

ログ管理画面

操作種別	日時	IPアドレス	実行結果	内容
リストアップ	2013-10-20 18:57:19	192.168.10.104	成功	リストアップ ログを生成
リストアップ	2013-10-20 18:52:49	192.168.10.104	成功	リストアップ ログを生成
リストアップ	2013-10-20 18:51:46	192.168.10.104	成功	リストアップ ログを生成
ログイン	2013-10-20 18:50:23	172.16.327.80		ログイン
バックアップ設定	2013-10-20 16:11:58	192.168.10.104	管理成功	バックアップ設定の更新グループ
バックアップ設定	2013-10-20 16:11:27	192.168.10.104	管理成功	バックアップ設定の更新グループ
ユーザ管理	2013-10-20 16:09:33	192.168.10.104	成功	ユーザ設定の更新

バックアップ、メンテナンス、オペレーション、アップデートのログを確認可能

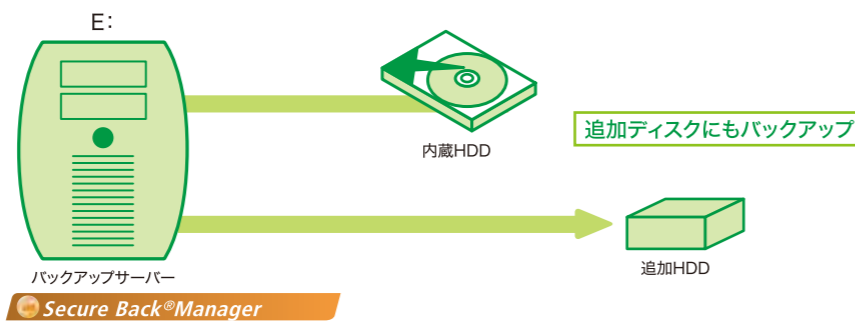
サーバー・シャットダウン機能

Secure Back® Manager にログインし、ワンクリックでシャットダウンが可能



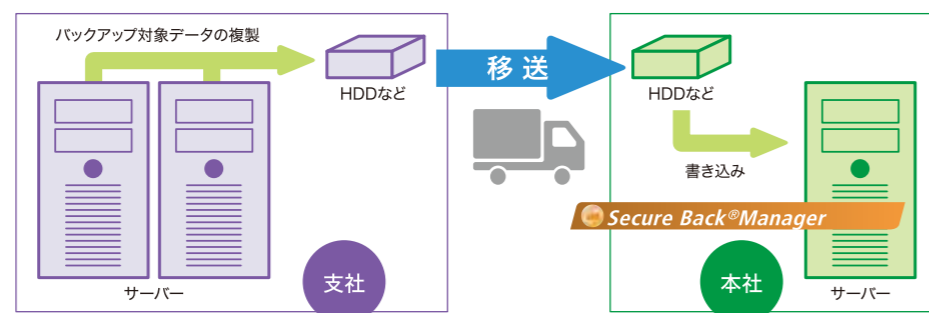
マルチドライブ機能

バックアップ先のドライブを複数指定できます。ユーザー追加や容量の増加に伴うストレージ増設が容易に行えます。



初回フルバックアップの時間短縮

専用エクスポート/インポートツールで、バックアップデータをローカルデバイス経由で書き込むことが可能です。初回フルバックアップの時間を短縮します。



バックアップ設定申請

バックアップ設定を、クライアントが管理者に申請する機能です。管理者は承認ボタンをクリックするだけで、申請内容が自動的に反映されます。また、申請機能は管理者側の設定でOFFにすることも可能です。

レプリケーションモード

バックアップ元で削除したデータがバックアップ先でも削除される「レプリケーションモード」に切り替える使用も可能です。バックアップサーバーを効率的に使うことができます。

電源OFF時のバックアップ

インテル® vPro™ テクノロジーに対応。電源OFF状態であってもバックアップタイミングが来ると自動的に電源を立ち上げ、バックアップを開始します。(バックアップ後は自動的に電源OFFになります)

制限付き管理者

管理者権限を機能・設定項目別に、新たな管理者に付与する機能です。機能の特権や、グループの特権を振り分けることで円滑なシステム運用が可能になります。

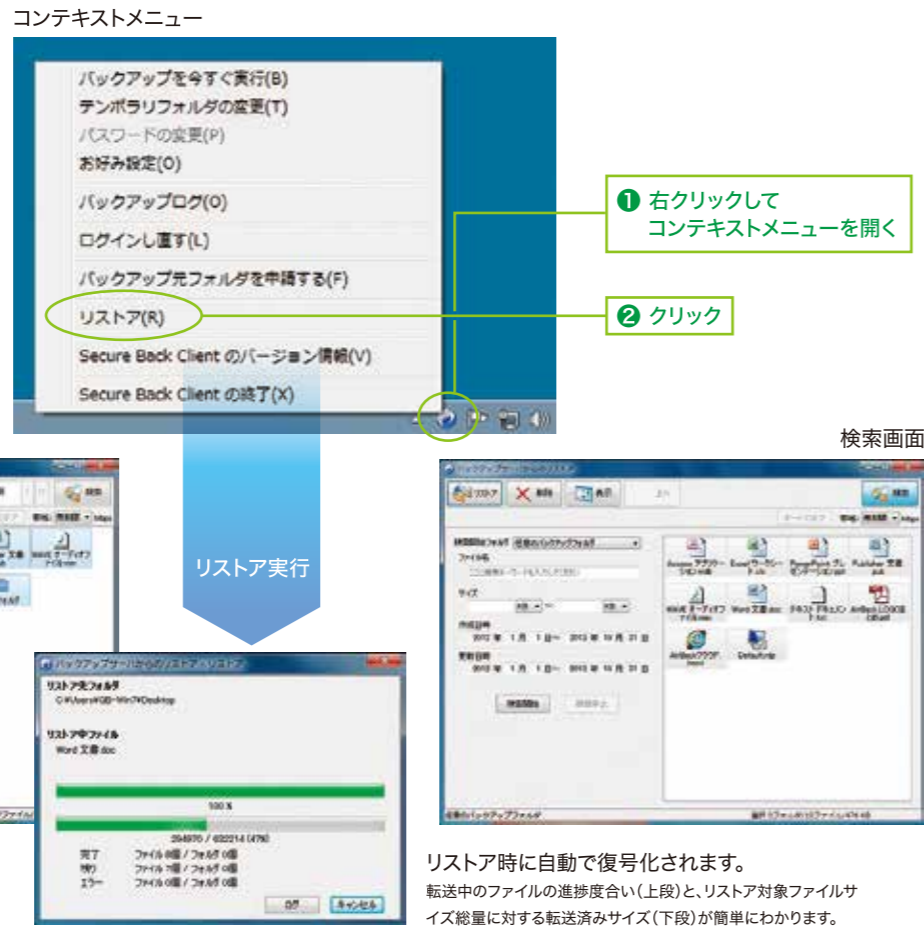
- 機能の特権
- ユーザー管理
 - バックアップ設定
 - ディスク管理
 - ログ管理
 - システム管理
- 付与できる権限

簡単、確実なリストア

ケアレスミスも、重大な故障時も、消失したデータを即座に復旧

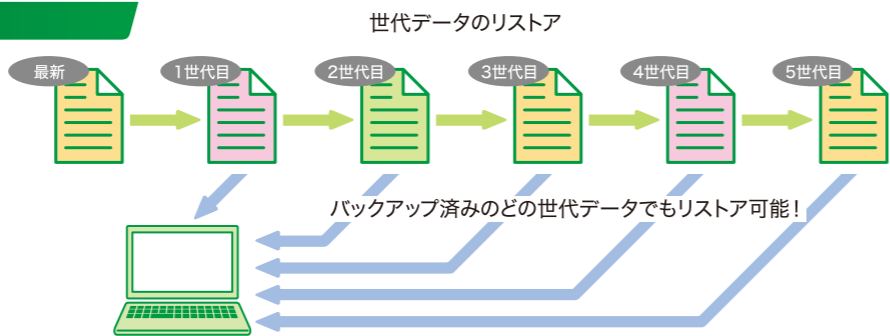
PCから起動できるリストア

管理者に依頼することなく一般ユーザーが自分自身で実行できるので、うっかり消してしまったデータをユーザー自身ですぐに復旧が可能です。もちろん管理者なら、すべてのバックアップデータをリストア可能です。また、ファイルの検索機能も備えているので、必要なファイルを簡単に探し出すことができます。



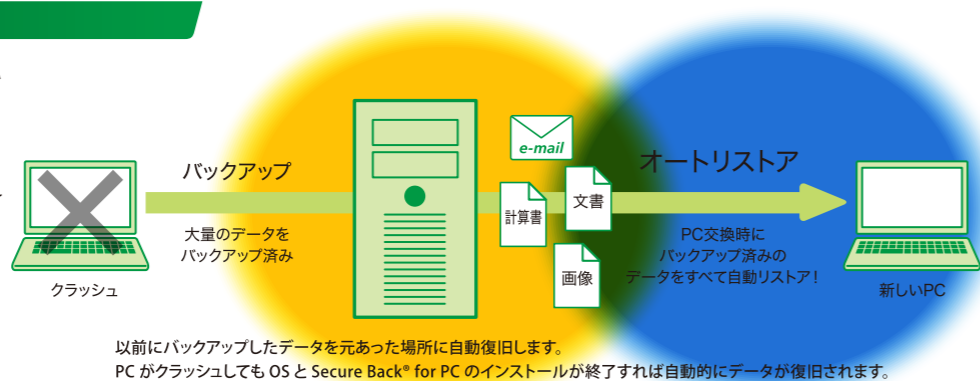
世代ファイルからのリストア

貴重なデータを誤って修正してしまい、元に戻さなければならなくなった場合でもSecure Back®なら、設定した世代数まで更新前のデータをいつでもリストア可能です。



オートリストア

すでにバックアップ済みのデータを、新しい環境にすべて自動でリストアする機能です。たとえば、ドキュメントのデータは新環境のドキュメントに自動でリストアされ、PC入れ替え時のデータ移行を、手間をかけずに全自動で実施できます。



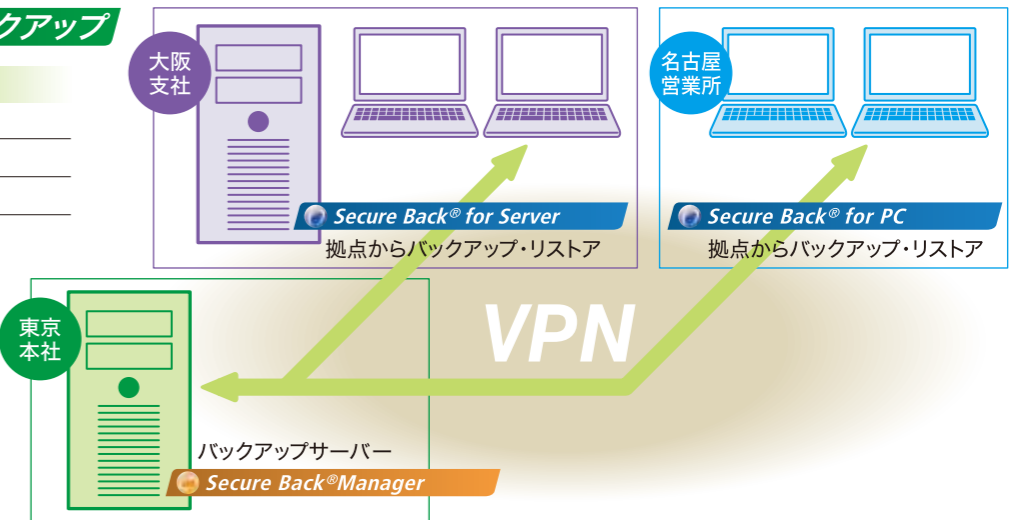
Secure Back®の活用例

既存ユーザー様の上手な活用例をご紹介します

WAN(VPN)経由のバックアップ

- 活用する機能
- 上限帯域制御
 - 同時転送セッション数制御
 - 転送ブロックサイズ制御

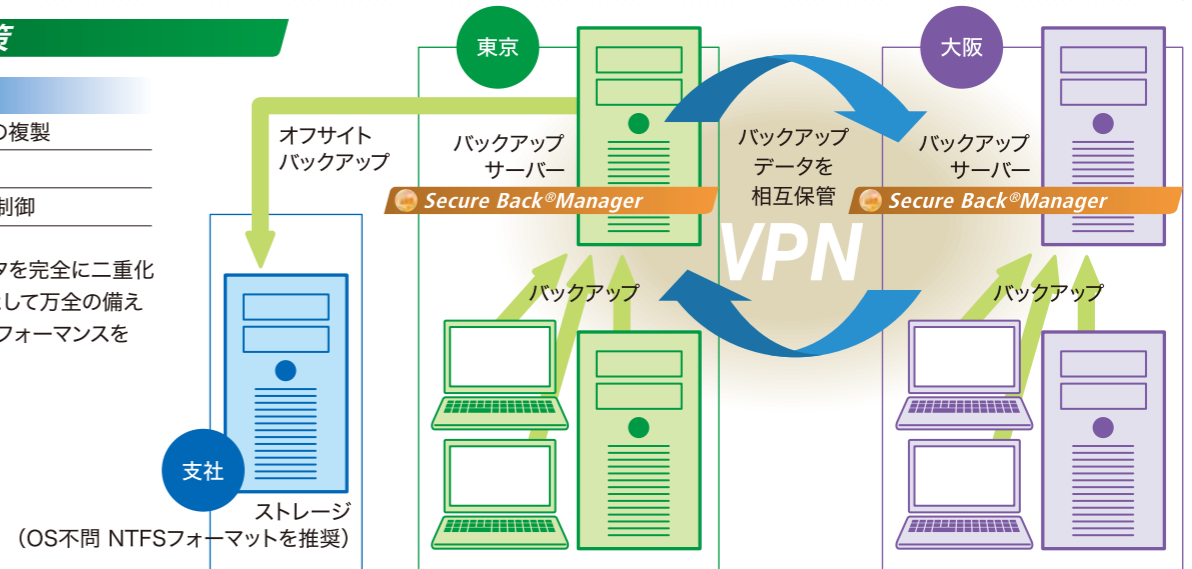
- 離れた拠点のバックアップが可能
 - 離れた拠点でリストアが可能
- ※ただし各拠点間を結ぶネットワークにVPN網が構築されている必要があります。



DR・災害対策

- 活用する機能
- バックアップデータの複製
 - 上限帯域制御
 - 転送ブロックサイズ制御

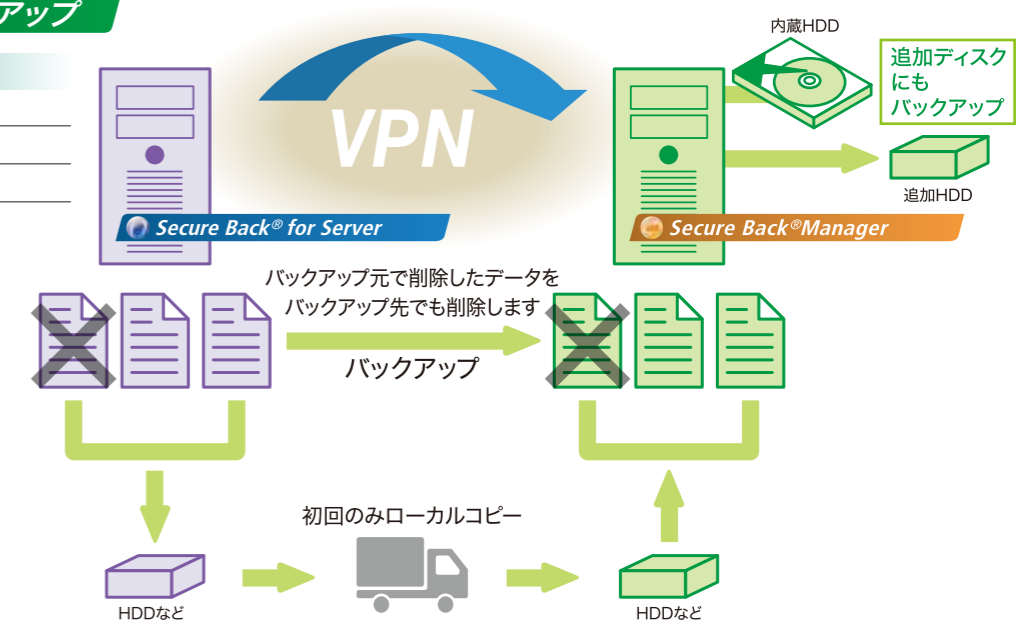
- バックアップデータを完全に二重化
- 万一の災害対策として万全の備え
- LANとWANのパフォーマンスを上手に活用



大容量サーバーのバックアップ

- 活用する機能
- マルチドライブ
 - レプリケーションモード
 - 専用エクスポート/インポートツール

- サーバー容量を効率的に使用可能
- ローカルデバイス経由で初回フルバックアップ時間を短縮

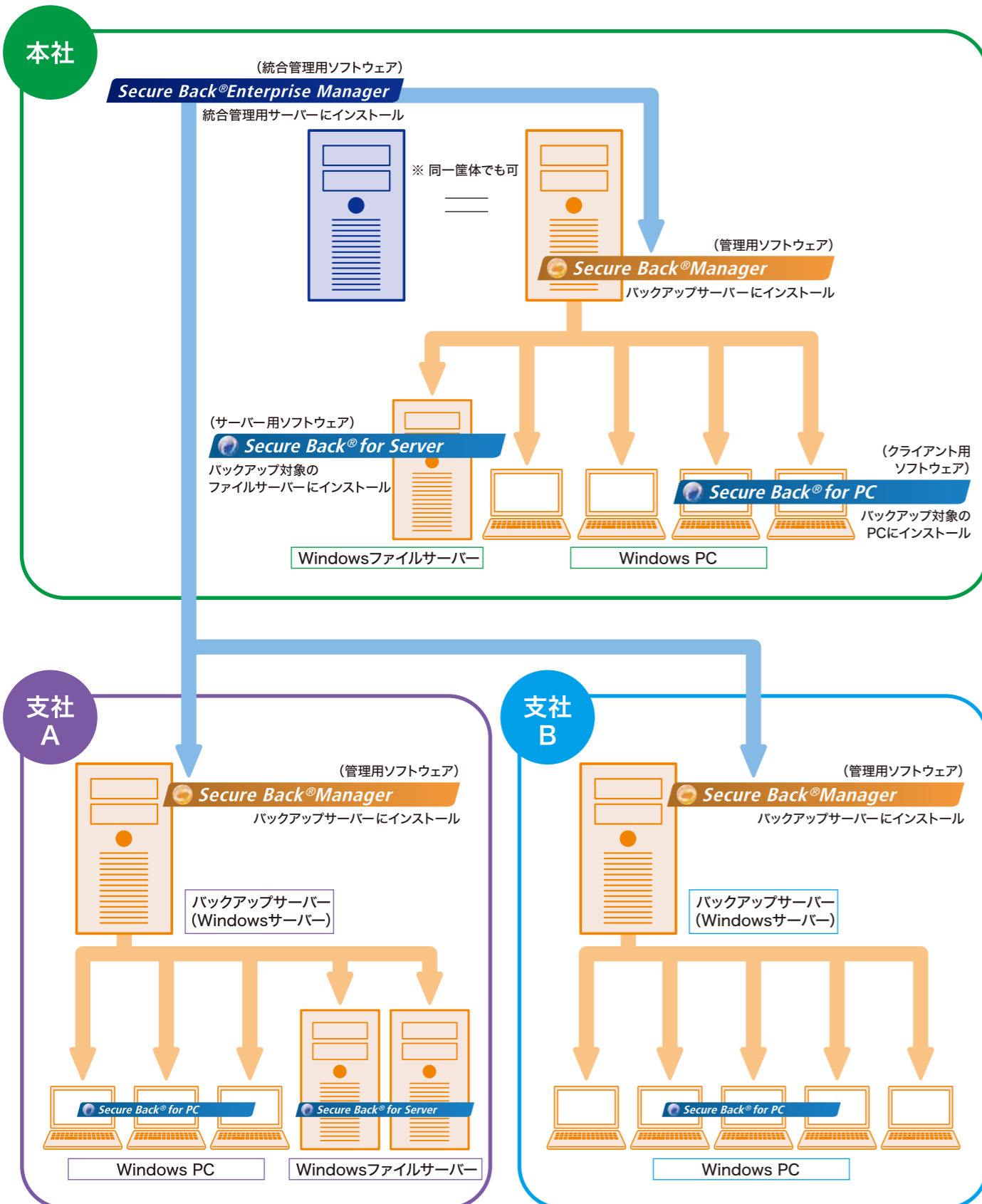


Secure Back® Enterprise Manager

統合管理用ソフトウェア

大規模層のお客様にお勧めしたいライセンスです。

Secure Back® Enterprise Managerは、複数のSecure Back®を統合管理するためのソフトウェアです。全システムの稼働状況を直感的に管理できるほか、拠点別の帯域制御やシステム間のユーザー移動、ライセンスの振分けなど、大規模に展開したSecure Back®を効果的にご利用いただくための様々な機能を備えています。



複数システムのバックアップを統合的に管理し、運用管理の充実とTCO(総所有コスト)の削減に役立ちます。

拠点別に帯域制御が可能に

高速なブロードバンド回線が用意できない拠点からWANを経由してバックアップを取る際に、ユーザー単位ではなく拠点単位で「上限帯域」や「セッション数」を設定することができます。



システム間のユーザー移動もラクラク

人事異動などでシステムをまたぐユーザーの移動が発生した際でも、管理者がSecure Back® Enterprise Managerの画面上で操作すれば、各システムに対し変更が自動処理されます。



各システムにライセンスの振分けが可能

所有するライセンスを各システムにいつでも振分けができます。クライアントライセンスだけでなくクラウド容量も振分け可能なので、購入したライセンスを最大限活用することができます。



各システムのステータスを直感的に把握

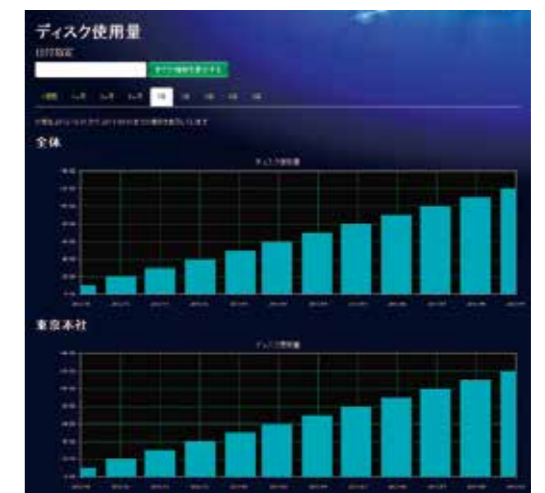
各システムが正常に稼働しているかやディスク容量が足りているかなど、各システムのステータスが一面面で管理できます。プロセッサ、メモリ、ディスク、ネットワークなどのトレンドグラフから、各システムの稼働状況を正確に読み取ることができます。



ホーム画面

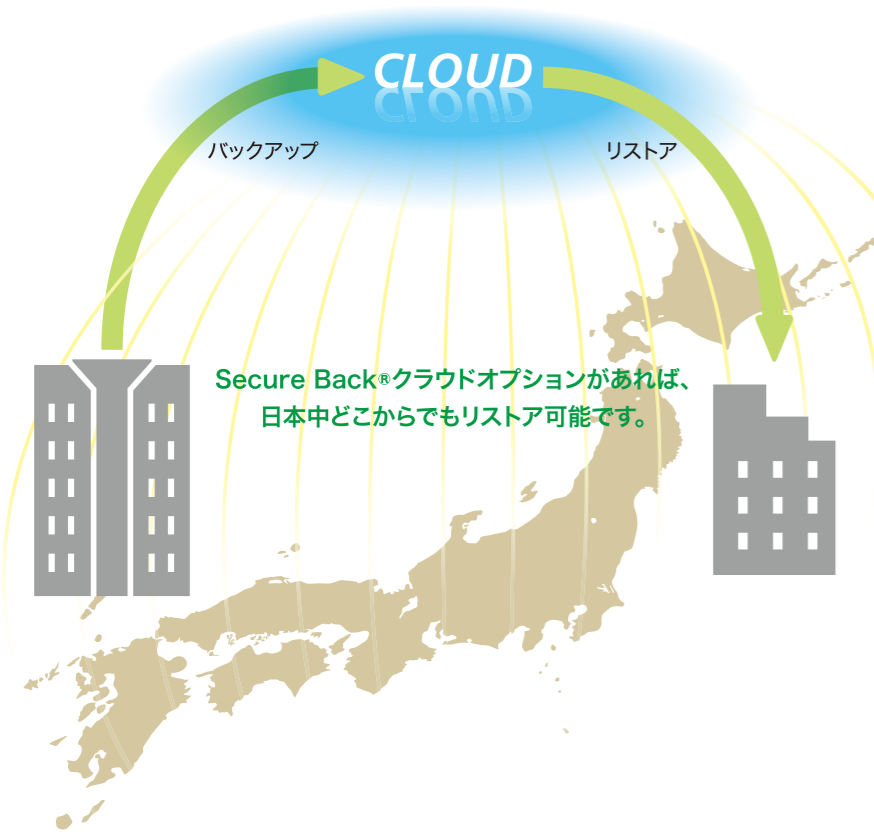


トレンドグラフ



ディスク使用量グラフ

クラウドオプション



Secure Back®クラウドオプションがあれば、日本中どこからでもリストア可能です。

国内複数iDCを利用、距離間は数百km以上

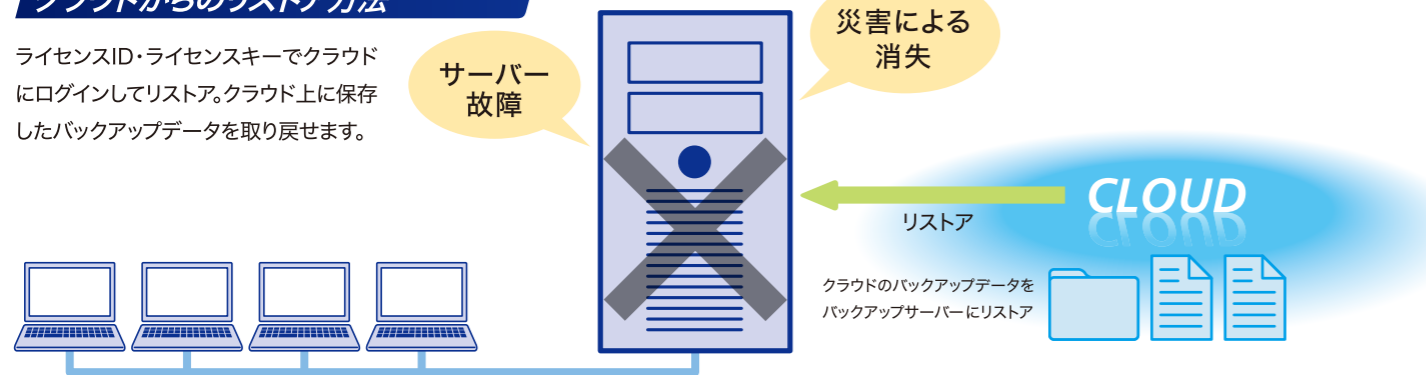
Secure Back®で暗号化されたデータは、お客様環境のバックアップサーバーからソフトウェアVPNによって暗号化された経路を通り、複数の国内クラウド環境へバックアップされます。クラウド間は数百km以上離れており自然災害などで同時にデータを消失することは事実上ないと言って過言ではありません。また、法人企業での利用を考慮して、Secure Back®で使う全てのクラウドは国内に存在し、バックアップデータが国外に出ていくことは一切ありません。一般的なパブリッククラウドをバックグラウンドに使用していないSecure Back®のために用意された専用クラウド環境なので、セキュリティポリシーの高い企業でも安心してご利用いただけます。

故障時でも災害時でも確実にリストア

Secure Back®クラウドオプションを購入すれば、アップデータが提供する専用クラウド環境を外部保管場所として利用できます。クライアント端末が故障した場合はまずバックアップサーバーからリストア。仮にバックアップサーバーが故障してもクラウドからリストアできます。万一の災害時には支社などの遠隔地からクラウドへ直接接続してリストアが可能になります。

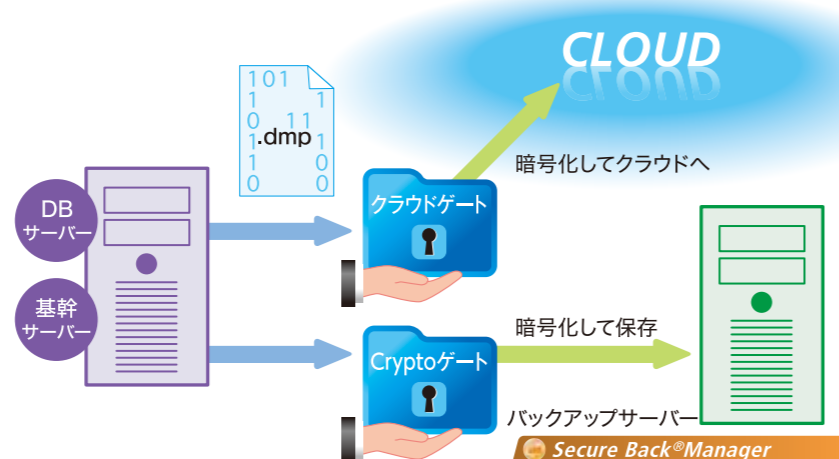
クラウドからのリストア方法

ライセンスID・ライセンスキーでクラウドにログインしてリストア。クラウド上に保存したバックアップデータを取り戻せます。



Windows以外のデータもクラウドへ

バックアップサーバーに自動生成されるクラウドゲートとCryptoゲートを活用すれば、SecureBack®が未対応のOSのデータでも自動的に暗号化してバックアップが可能です。Cryptoゲートに置かれたファイルはバックアップサーバー内に保存。クラウドゲートに置かれたファイルはクラウドに保存されます。



サブスクリプション年間ライセンスサービス一覧

1年ライセンス	製品名称	型番	定価
Secure Back for PC 1年間		SBPC1Y	¥ 12,000
Secure Back for Server 1年間		SBSV1Y	¥ 72,000
Secure Back クラウドオプション 1TB 1年間		SBCO1TB1Y	¥ 300,000

※お申込みには別途申請書が必要です。

5年ライセンス	製品名称	型番	定価
Secure Back for PC 5年間		SBPC5Y	¥ 54,000
Secure Back for Server 5年間		SBSV5Y	¥ 324,000
Secure Back クラウドオプション 1TB 5年間		SBCO1TB5Y	¥ 1,350,000

※お申込みには別途申請書が必要です。

- ご契約について
 - お申し込み後、ご利用開始された月は無料となり、翌月1日から費用が発生します。1年間または5年間の利用権とオンラインサポートが付帯します。
 - Secure Back Managerはお客様の必要数量分の提供が可能です。
 - ただし購入ライセンス数量以上の払い出しは致しかねますのであらかじめご了承ください。